

# 全国海の再生・ブルーインフラ賞の創設

---

一般財団法人 **みなと総合研究財団**

### 【背景】

- みなと総合研究財団では、平成29年度より、「東京湾海の環境再生賞」を創設し、東京湾の環境に取り組む市民団体や民間団体等の功績を称え賞してきたところ。
- 国土交通省港湾局が「命を育むブルーインフラ拡大プロジェクト」を開始し、藻場や干潟等の創出に取り組む担い手の全国展開を目指していることを踏まえ、みなと総合研究財団は、「東京湾海の環境再生賞」を変更し、新たに「全国海の再生・ブルーインフラ賞」を創設。

### 【全国海の再生・ブルーインフラ賞の募集対象エリアと表彰対象】

#### (新設) 全国海の再生・ブルーインフラ賞

#### (従来) 東京湾海の環境再生賞

募集対象エリア

東京湾

東京湾以外の海域・沿岸域

表彰対象

海の環境再生

ブルーインフラ

### 【期待する効果】

賞の創設を機に、ブルーカーボン生態系の保全活動の担い手の拡大や先導的な取組の増加が期待される。

※ブルーインフラ: 藻場・干潟等及び生物共生型港湾構造物

## 『第1回全国海の再生・ブルーインフラ賞』募集のご案内

我が国の海辺空間の環境再生、普及啓発、青少年の育成のほか、ブルーインフラ（藻場・干潟等及び生物共生型港湾構造物）の保全・再生・創出を推進し、海辺の環境改善、地域社会の活性化、カーボンニュートラル等に貢献する活動の実績と成果がある者（市民団体や民間団体等）の取組を称えることで、我が国の経済・文化の中心である港湾の貴重な海辺空間がより豊かに次世代に引き継がれること、また、カーボンニュートラルへの貢献を目的としたブルーインフラの拡大に寄与することを目的とし、「全国海の再生・ブルーインフラ賞」を創設しました。

### 【賞の対象】

全国の海域及び沿岸域における環境再生、普及啓発、青少年の育成のほか、ブルーインフラの保全・再生・創出に取り組む団体活動（事業活動またはその一環として取り組んでいるものを含む）であって、社会貢献の実績と成果を有するもの。

### 【応募資格】

自治体、市民団体、民間企業、学術研究機関等の複数の主体が携わる団体活動を対象とします。

### 【応募方法】

海の環境再生等に取り組みされている皆様から、直接ご応募いただけます。  
 応募にあたりましては、応募要項に詳細が記載されていますので、ご覧ください。  
 ◆応募要項及び応募用紙は、HPからダウンロードすることができます。  
 HP <https://www.wave.or.jp/doc/blueinfra.html>

### 【応募締切】

令和5年12月15日（金） 当日消印有効

### 【授賞について】

「国土交通大臣賞」と「みなと総研賞」を予定  
 それぞれ賞状及び副賞を授与いたします。  
 なお、令和6年2月頃開催予定の「第18回海の再生全国会議」の中で授賞式を行う予定です。

### 【主催】

一般財団法人 みなと総合研究財団

### 【後援】

国土交通省

### 【問い合わせ・応募先】

一般財団法人 みなと総合研究財団  
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-1-10 第2虎の門電気ビルディング4F  
 TEL03-5408-8291 FAX03-5408-8741  
 E-MAIL [wavemaster@wave.or.jp](mailto:wavemaster@wave.or.jp)

## 【募集対象】

全国の海域及び沿岸域における環境再生、普及啓発、青少年の育成のほか、ブルーインフラの保全・再生・創出に取り組む団体活動（事業活動またはその一環として取り組んでいるものを含む）であって、社会貢献の実績と成果を有するもの。

## 【応募資格】

自治体、市民団体、民間企業、学術研究機関等の複数の主体が携わる団体活動。

## 【スケジュール】

令和5年10月10日 募集開始（プレス発表）予定  
 令和5年12月15日 応募締切  
 令和6年 1月下旬 審査委員会  
 令和6年 1月下旬 審査結果通知  
 令和6年 2月中旬 授賞式

## 【審査委員】

委員長	來生 新	神奈川大学海とみなと研究所上席研究員／ 横浜国立大学名誉教授／放送大学名誉教授
委員	佐々木 淳	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授
委員	木場 弘子	フリーキャスター・千葉大学客員教授
委員	松木 隆一	全国港湾都市協議会会長市代表 (神戸市港湾局副局長)
委員	中川 研造	国土交通省 港湾局海洋・環境課長
委員	酒井 洋一	一般財団法人 みなと総合研究財団 専務理事